

2021年度 個人研究実績・成果報告書

2022年 4月14日

所属	商経学部	職名	教授	氏名	上山 俊幸
研究課題	自動車産業における研究開発に関する研究				
研究キーワード	自動車産業、研究開発、EV	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	12. つくる責任 つかう責任	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	該当なし	

1. 研究成果の概要

世界的にSDGsが進められるいま、その中でも環境への配慮もこれまで以上に重要な目標になっている。自動車のEV化は待ったなしで進めていくことが求められ、企業も取り組みを進展させている。EV化に関しては全固体電池を始め新しい大容量化した電池の開発が期待されている。また、企業は研究開発を進めると同時に、活動内容を社会へ広報することも必要である。そのため、2021年度は、有価証券報告書の分析を中心に進めた。有価証券報告書の記述に関しては改善が進み、その内容も変化し充実してきたので、分析することは意味のあるものになってきたといえる。環境変化のなかの研究開発・技術開発に関する記述を分析するとともに、金額も含めて計数的な分析を行った。分析するなかで、説明部分の記述の信頼性について考察していくべきであることが分かってきたので、これも今後研究していく必要があると認識できた。

現在の自動車産業の範囲を超えて分析するつもりであったが、そこまでは展開できなかった。

2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【学会発表等】

「自動車製造企業の研究開発に関するデータ分析」国際ICT利用研究会第5回講演論文集，2021.12。

3. 主な経費

研究用にパソコン（114,800円）を購入した。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

（本文は2ページ以内にまとめること）